

2025 年 8 月 14 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 プ イ キ ュ ー ブ
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 間 下 直 晃
 (コード番号：3681 東証プライム)
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 山 本 一 輝
 (TEL. 03-6625-5011)

業績予想と実績との差異及び営業外費用、特別損失の計上 並びにその他有価証券評価差額金の減少に関するお知らせ

当社は 2025 年 12 月期中間期決算において、業績予想と本日公表の実績に差異が生じたとともに、営業外費用と特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2025 年 12 月期中間期末においてその他有価証券評価差額金が下記のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異

(1) 2025 年 12 月期中間期の連結業績予想と実績との差異

(2025 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	調整後 EBITDA	営業利益	経常利益
前回発表予想 (A)	5,000	350	△800	△900
実績値 (B)	5,013	308	△816	△988
増減額 (B-A)	13	△42	△16	△88
増減率 (%)	0.3	△12.0	—	—
(参考) 前期実績 (2024 年 12 月期中間期)	5,619	824	229	191

	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益		
前回発表予想 (A)	0	0 円 00 銭		
実績値 (B)	△634	△24 円 53 銭		
増減額 (B-A)	△634			
増減率 (%)	—			
(参考) 前期実績 (2024 年 12 月期中間期)	△212	△8 円 52 銭		

(2) 差異の理由

売上高から経常利益は概ね業績予想の通りに着地いたしました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、米国子会社 TEN が連結から除外されることによる特別利益を想定しておりましたが、現在進めている資金調達のプロセスの遅延により当該特別利益が発生しなかったことによる影響により、業績予想を下回りました。

2. 営業外費用の計上

2025 年 12 月期第 2 四半期において、主にグループ内の外貨建て資産・負債に対し為替相場の変動により、為替差損を 52,484 千円計上いたしました。2025 年 12 月期中間連結会計期間においては、為替差損を 73,980 千円計上いたしました。

3. 特別損失の計上

2025 年 12 月期第 2 四半期において、当社が保有している投資有価証券の一部について、実質価額が著しく低下したため、減損処理による投資有価証券評価損を 14,482 千円計上いたしました。

4. 2025 年 12 月期中間期末のその他有価証券評価額金

(単位：千円)

(A) 2025 年 12 月期中間期末のその他有価証券評価差額金の額	98,775
(B) 2025 年 12 月期第 1 四半期末のその他有価証券評価差額金の額	90,287
(C) 2025 年 12 月期中間期末のその他有価証券評価差額金の増加額	△8,488
(D) 2024 年 12 月期末の純資産の額 (C/D×100)	23,664 (△35.9%)

(注) 2025 年 12 月期中間期末のその他有価証券評価差額金の増減額が前期末の純資産の額の±30%を越えたため、開示を行うものです。

5. 業績への影響

上記を含めた 2025 年 12 月期中間期の業績については、本日公表しました「2025 年 12 月期 第 2 四半期 (中間期) 決算短信〔日本基準〕 (連結) 」に反映しております。

以 上